NPO法人 BFN
会　報

第11号
発行日 2013.12.10

＊『ジャイモシ』ネパール語で「主（神）を讃美しましょう」の意

留学して感じたこと
～素晴らしい学校、素晴らしい日本！！～

皆さん、ジャイモシ。

私は毎日とても楽しく暮らしています。高校生活はとても忙しいですが、楽しいです。友だちや先生方は、私が知らないことを教えてくれます。昼食は友だちと一緒に食べます。彼女たちはとてもおもしろくて親切です。最近、休み時間にiPadでゲームをしています。とてもおもしろいです。私が所属しているのは英語特化コースなので、みんな英語が大好きです。

私は彼女たちの英語を助け、彼女たちは私の日本語を助けてくれます。江藤先生と越川先生は日本語の授業を助けてくれています。図書館で個人指導もしてくれます。お二人の先生にはとても感謝しています。

先日は文化祭と体育祭がありました。ネパールにはないものなので、私は多くのことを学び、楽しみました。日本の高校生は、勉強もスポーツもとてもレベルが高いと思います。日本にはクラブ活動がありますが、ネパールでも導入されていくべきだと思います。

私たちネパール人はよく他の人を批判しますが、自分から何かをしようとはしません。日本はとても豊かな先進国ですが、日本に来て気付いたのは、日本は政府の努力によってだけでなく、個人個人の努力によって成長してきたということです。いつかネパール人がこの感覚を理解してくれることを願っています。国を発展させるためには、私たちがまず自分のできることをしていくべきなのです。

例えば、ネパール人はどこにでもゴミを捨てます。日本では公共の場を大切にしていると思います。まずこのような小さな習慣から変えるべきだと思います。そうすれば、ネパール全体がゆっくりとでも、確実に変わっていくはずです。

私が学んだもう一つの大事なことは、時間の価値です。もし私が駅に1秒でも遅れたならば、私は電車に乗ることができません。日本では人々が時間に合わせて過ごします。しかし、ネパールでは人々に時間が合わせています。

日本のすばらしい点をもうひとつだけ挙げます。日本文化です。すべての人がお互いを尊敬し合っています。とても謙遜で親切です。日本でもっともよく使われる言葉は「すみません」と「ありがとう」です。私たちはこれもまた見習うべきだと思います。ここで学んでいるたくさんのことを、これからの私の人生に活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、私はホストファミリーにとても感謝しています。彼らはとても親切で、私をとても愛してくれています。私は彼らのことが大好きです。私はまた、私とネパールの学生たちを支援してくださっているBFNの方々にも、深く感謝しています。ありがとうございます。

近畿大学付属高校　2学年　**サリタ・シュレスタ**

目次：

留学して感じたこと　1
ネパールからの留学生を受け入れて　2
サリタを我が家に迎え入れて　2
サリタの友達になって　3
ありがとうサリタ　3
とても勇敢なサリタ　3
マチェガウン村から見たNHA　4
2012年度卒業生SLC試験結果過去最高の成績　4
ネパールのカースト制度（4）　5
NHAの先生の紹介（3）　5
シャイリ・カナルの日常生活　6
質問箱　7
豆知識　7
支援者状況　8
新規に支援される子供たち　8
新中期目標　8
長期ビジョン積立金　8
編集後記　8

ハイライト：

ネパールからの留学生を受け入れて（2ページ）
サリタを我が家に迎え入れて（2ページ）
サリタの友達になって（3ページ）
ありがとうサリタ（3ページ）
とても勇敢なサリタ（3ページ）

NPO法人　ブリッジズ・フォー・ネパール　（BFN）
事務局：〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町３丁目１番４号（鬼頭宅）
Tel/Fax　072-695-0513
URL：http://www.npo-bfn.org

ネパールからの留学生を受け入れて

2013年3月、サリタが来日。その頃、私は地中海の島、マルタ共和国にいた。クラスの生徒を引率しての約一ヶ月の短期留学だった。本校、特に英語特化コースではさまざまな留学制度がある。3週間、3ヶ月、1年。場所も、オセアニア、北アメリカ、イギリスなど様々である。生徒は外から日本を見るという経験を通し、実に多くを学ぶ。しかしながら、留学生の受け入れはここ10年なく、しかも大学まで見据えてというのは初めてだった。国際教育室主任であり、担任であり、日本語も教えなければならないとなると、私はものすごい重圧を感じていた。

一方、クラスの生徒達は、ネパールという国から、留学生の女の子が来るということに何となくウキウキしていた。私もあまり考えすぎず、できるだけのことをやろうと考えた。まず、彼女の目標設定である。大学の専門家にサリタの作文を見てもらった。すると、日本語学習者によくあるミスが多くあるものの、初心者にしてはかなり高いレベルであることが分かった。日本語能力試験に照らし合わせ、中級である2級クリアを一年間の目標にすることにした。つまり、学習時間600時間程度の中級相当、漢字は1000字、語彙6000語程度である。これは、漢字に慣れた中国人学習者でもない限り、通常1年では困難なレベルだが、1年半後には大学入学にあたる試験が始まることを思えば、辛くてもクリアしなければならない。また、1000語は小学校で学習する漢字の数に相当するため、その後の学習もグンと楽になる。

また、日々のアドバイスとして、**1)クラスの英語リーダーになること、2)オアシスを意識すること、3)受け答えの仕方**の三つを与えた。1)については、今年から授業を英語で行っていたため、比較的スムーズだったものの、ネパールの国民性なのか、控えめな彼女は男女混交グループで意見をはっきり述べることに最初戸惑っているようだった。2)は、おはようございます、ありがとうございます、失礼します、すみません、である。日本語では、この部分のコミュニケーションが非常に重要である。逆に、この4つができれば少々語彙が少なくても何とかなるという利点もある。3)が最も困難である。例えば年長者から「生活には慣れた？」と聞かれ、「うん、慣れた」とは行かない。「はい、慣れました」とするには高度な言い換えが必要になる。それでも、大学以降の生活を見据えた指導を心がけた。とにかく目標に沿って、毎週漢字テストや文法の学習、毎日の交換日記、読書、そして化学の教科書の読解を進めた。

当初大変だったのは化学である。語彙も漢字もハイレベル。しかし、サリタは必死についてきてくれているようだった。それが、停滞しだしたのは1ヶ月が過ぎたころ。課題の遅れがあり、かなり厳しい注意をした。考えてみれば、日本の生活にも慣れ、少しは羽を伸ばしたいころだっただろう。でも、彼女は猛反省して、謝罪のメールをくれた。熱心に勉強し、屈託なく笑う彼女を見て、私だけでなく、多くの生徒や教員がインスパイアされた。

江藤先生から個人指導を受けるサリタ

生徒もひたむきに努力する彼女を尊敬している。私自身も、第二外国語としての日本語を一から学び、目からウロコの体験を多くすることができた 。現在育児休業中で彼女の学習がどうなっているか分からないが、きっと一歩一歩着実に学習を進めていることと思う。彼女が将来力強く羽ばたいていくための基礎力を本校で身につけてくれること、そして夢の実現に一歩でも近づいてくれることを祈っている。

近畿大学付属高校　国際教育室主任　**江藤由布**

サリタを我が家に迎え入れて

昨年の5月、NHAのピーター校長とNHA相談役のチェ兄が来日され、ネパールの様子とNHAのレポートがなされました。 ネパールの国を愛しておられるお二人の姿から、神さまのお心を考えさせられる機会となりました。そして、その時、初めてサリタの写真を見せて頂きました。NHAから最初の日本留学生となるサリタを見て、すぐにわが家にステイすることが神さまの御心ではないかと思いました。私たちの家には2年前に亡くなった義母の部屋があります。その部屋を使ってもらおう。この思いは自分だけでなく、家内も長女もそう感じたそうです。そして、3人で祈り出し、そして、集会の兄弟方にも祈って頂き、ある聖書のみことばから、それが神のみこころであると確信するに至りました。「**急いで降りて来なさい。きょうは、あなたの家に泊まることにしてあるから**」(ルカ19章5節)。サリタを喜んでお迎えしようという思いが与えられ、それから部屋の整理が始まり、ベッドや机、タンスやソファなどが次々と与えられ、サリタの部屋は完成しました。

サリタが家に来たことをきっかけに、私たちもネパールが身近になり、近しい国の一つになりました。いつか訪問して、現地でネパールの国の祝福のために祈りたいと思いました。そして、サリタが来てくれたおかげで、日本の良い所も悪い所も見直す機会となりました。

国や家族や信仰の家族のために、一所懸命に勉強し、頑張っているサリタに、自分たちもできる限りの協力したいと思っています。

ホストファミリー　**元　義豪**

サリタの友達になって … 私とサリタの約束

私の名前は春名みどりと言います。サリタとは教会で出会いました。私たちは年は違うけれど出会ってすぐに仲良くなりました。サリタは賢くて可愛くて素敵な友達です。サリタと居ると落ちつきます。また、まだ日本にきて一年もたっていないのにすごく日本語が上手です。すごく努力家で見習うことがたくさんあります。そして、サリタは私にネパール語や英語を教えてくれて、私は少しですがサリタに日本語を教えています。

わたしはこの夏休みに高校の活動でサリタの国のネパールに行きました。私の高校は学校に行くことができない子どもたちを支援しています。

最初に高校の先生からこのボランティア活動のことを聞いてサリタの国のことをもっと知りたい、ネパールに行ってみたいと思い、参加しました。ネパールの子供たちはみんな元気でサリタみたいに目がキラキラ光っていました。みんな英語がすごく上手です。ネパールにいこうと、思ったのもサリタと出会うことができたからです。実際に自分の目で見ることによってネパールの素敵なところや、また支援が必要なところを肌で感じることができました。なにより、ネパールが大好きになりました。

わたしはサリタが大好きです。サリタと約束しています。サリタと一緒にネパールに行くことを！！

サリタに出会わせてくださった神様に感謝します。

東住吉キリスト集会　**春名みどり**

ありがとうサリタ

はじめまして。私はネパールから留学中のサリタさんと同じクラスに通う17歳の高校生です。私はネパールに感謝しています。なぜなら、サリタさんという素晴らしい方を日本に留学させてくださったからです。サリタさんに出会い一緒に過ごせる時間は彼女自身にとってだけでなく、回りにいる私たちにとっても大変素晴らしいものだからです。

私はサリタさんの長所をたくさん知っています。例えばサリタさんはとても心が温かい人であるということです。サリタさんはテストの点数もトップクラスで、日本独特の文字の“漢字”もとても上手に使いこなしています。でも彼女は、それを自慢したり偉そうな態度はとりません。とても自然で、いつも優しい態度で接してくれます。私はそんな彼女を心から尊敬しています。

それから日本では食事の時にお箸を使います。サリタさんはまだ練習中で、お箸を使うのは外国の人にはとても難しいと思います。私が思うに、おそらく彼女は内心でストレスを感じているはずですがイライラした態度を私たちには一切見せません。私たちは毎日一緒にご飯を食べています。彼女は、お箸に苦戦しながらも、にこやかに私たちと談笑しながらお弁当を食べています。

このようにサリタさんには、それはそれはたくさんの長所があるのです。サリタさんの何に対しても前向きで努力を惜しまない所は本当にいつも感心しています。そして私たちはサリタさんのように努力をしなければ、何も得られないのだと、心を改めました。私たちはサリタさんから多くのことを学んでいるのです。

これからも、サリタさんとのこの貴重な時間を大切にしていきたいと思います。素晴らしい友人、サリタさんに出会えたことを誇りに思います。ありがとうございました。

近畿大学付属高校　２学年　**稲葉　恵里花**

とても勇敢なサリタ

サリタと出会って、私は彼女のネパールに対する思いやりと意志の強さにとても驚きました。日ごろの授業や日本語を練習することなど、彼女はいつも熱心です。私がわからないところは教えてもらったり、反対に漢字などは私が教えたりして、お互いに協力し合っています。また、彼女は私よりも年上だけど、とても優しく接してくれます。

彼女はよく、大学を卒業して薬剤師になってネパールの人々のために働きたいと言っています。初めてそれを聞いたとき、そのために一生懸命勉強を頑張っているんだ、と気付きました。ネパールの食べ物や踊りについて教えてくれたりして、私はよく彼女の強い愛国心を感じます。

日本に来た当初は、言葉もあまり理解できず、生活環境も全然違ってホームシックにもなったんじゃないかと思います。でも彼女はそのような様子を私たちには決して見せませんでした。そんな彼女の勇敢さに憧れます。

これから約1年半ほど、一緒に高校生活を送るのが楽しみです。日本で学んだこと全てが、彼女にとって良い経験になることを心から願っています。

近畿大学付属高校　２学年　**柴田　穂花**

マチェガウン村から見たNHA・・・・村に喜ばれる学校を！！

NHAはネパールの首都カトマンズのマチェガウン村にあります。カトマンズは原住民であるネワール人の文化や伝統の影響を強く受けています。宗教的で偏狭な考え方が、教育の発展を難しくしています。村人たちの視野の狭い考え方を克服するために、また子供たちに質の高い教育を与えるために、NHAは10年前に設立されました。

以前マチェガウン村の人々はNHAを否定的に見ていました。彼らはこの学校がキリスト教を布教するために作られたのではないかと疑っていました。またNHAの生徒数が増加することで、近隣の学校の生徒数が減り、直接的であれ間接的であれ、NHAに敵対していました。

しかし、これらの問題は数年間だけのものでした。多くの生徒がより良い環境で学ぶための奨学金を得るようになって、NHAは保護者や村人たちから理解を得るようになりました。NHAは良心的な学費で質の高い教育を受けられる機会を与えることによって、問題を克服したのです。

そして、現在NHAには850名を越える生徒が在籍し、近くの村からも生徒たちがバスで通っています。私が最もうれしいのは、多くの生徒たちがBFNの奨学金で学ぶことができていることです。NHAはSLCで常に良い結果を出すことができています。年々良くなっています。奨学金が生徒たちを強く励ましています。

NHAについて保護者や村人からこんな意見が出ています。

・生徒数が多いのは良いことだが、教室の狭さが問題
・歌、音楽、スポーツ、芸術などの課外授業が増えることでより良くなる
・将来、地域で最も優秀な学校となってほしい

これらの意見を知っていながら、NHAは予算不足のため、実現することができていません。また、多くの保護者の方が自分の子どもをNHAに入学させたいと願っても、限られた席しかないのが現状です。

皆さまは多くの支援をくださり、NHAの発展に貢献してくださっています。奨学金を受け、学業に励んでいる生徒たちは、皆さまにとても感謝しています。生徒たちはより高いレベルの成績を修めることで、NHAの明るい未来を形作ってくれることでしょう。

NHA 渉外部長　**チロンジビィ・シュレスタ**

NHA　2012年度卒業生　SLC試験を過去最高の成績でパス！！

NHAは、毎年SLC試験で優秀な成績を修めています。2012年度（7月発表）は特等級と一等級で、二等級以下はなしという優秀な成績で全員合格しました。下記の表のとおり、SLC試験をパスすることがいかに難しいかが分かります。NHAは全国の平均から比べるとダントツの成績です。

NHAとしては、嬉しい出来事ですが、教育格差の大きさを知るデーターでもあり、手放しで喜べない一面もあります。

2012年度卒業生のSLC試験結果

種　別	受験者数	特等級	一等級	二等級	合格級	不合格
ＮＨＡ	46人	9人	37人	0人	0人	0人
※（率）		19.6%	80.4%	0%	0%	0%
全国	511,165人	16,924人	76,282人	75,687人	43,607人	298,674人
※（率）		3.3%	14.9%	14.8%	8.5%	58.5%

※　総受験者数に対する各級の割合（%）を示す。

ネパールのカースト制度（4）

法律で定められていたカースト制度・ムルキアイン

法的なネパールのカースト制度は、ジャング・マハルル・ラナがヨーロッパ旅行から帰った後、彼によってムルキアイン(1854年)という法律が紹介されたことに由来します。ムルキアインは、ネパールにおいて何世紀もの間、実際にあった社会のきまりをまとめた民法典です。ムルキとは「国家」アインとは「法典」の意味です。

	身分階層		カースト／エスニック・グループの例
浄カーストのグループ	〔第1階層〕 タガダリ 〈Tagadhari〉 「聖紐を身に付けた者」 または「2度誕生するカースト」		バフン〈ブラーマン〉 インド・ブラーミン チェトリ〈クシャトリア〉 デオバジュ（ネワールの司祭）☆ サンニャシー（苦行者）
	〔第2階層〕 マトワリ 〈Matwali〉 「酒を飲む者」	カーストを失うことのないマトワリ 〈Na·masinya Matwali〉	ネワールの諸カースト☆ マガル★ グルン★
		カーストを失いうるマトワリ 〈Masinya Matwali〉	ボティア（チベット系の人々）★ リンブー★ シェルパ★ マジ（漁師）★ クマール（壺作り）★
不浄カーストのグループ	〔第3階層〕 水を受け取ることはできないが、接触しても清める必要のないカースト （不浄であるが可触のカースト） 〈Pani na·chalne Chhoi chhito halnu na·parne jat〉		ムスリム ドビ（タライの洗濯屋） カサイ（ネワールの屠殺業）☆ クスレ（ネワールの弔いの楽師）☆ ムレッチャ（ヨーロッパ人）
	〔第4階層〕 水を受け取ることはできなく、接触すれば聖水で清める必要のあるカースト （不浄で不可触のカースト） 〈Chhoi chhito halnu parne jat〉		サルキー（皮なめし工） カミ（鉄鍛冶） ダマイ（仕立て屋、婚礼の楽師） ガイネ（遊行の楽師） チャメ（ネワールの掃除人）☆

注）☆：ネワールのカースト　　★：ネワール以外のカースト

ムルキアインはネパール市民を二つのカースト「水が清いままであることが許されるカースト」と「水が汚されたカースト」に分けました。

ムルキアインは、3つの地域（山岳地域、高原地域、低地地域）で発展していたヒンドゥー教のカースト制度を統一しようという側面と、様々な少数民族をうまくこのカースト構造の中に組み込んでいこうという側面をもっています。しかも組み込む際にはカーストグループの上位の下につけるというかっこうで、組み込んでいます。

第1階層であるタガタリの中でもバフン、チェトリは高い階層に属します。不浄カーストのグループは古代マヌ法におけるバルナ制度です。イスラムの人々や外国人たちもまたこの階層に属します。その中でも不浄カーストのグループは「不浄であるが可触のカースト」と「不浄で不可触のカースト」の二つのグループに分けられます。

元NHA教頭　**コモル・プラサド・ポカレル**

NHAの先生紹介（3）

2013年6月15日、NHAで日本語の授業が始まりました。日本語はNHAにとって特色のある科目となっています。生徒たちが日本語に高い関心を示していることは私たちの喜びです。生徒たちはよく勉強していますが、直面している課題がいくつかあります。

例えば、同じクラス内で習得レベルの違う生徒たちを教えることです。ある生徒たちのレベルは非常に高く、ある生徒たちは低いです。それだけでなく、やる気もそれぞれ異なります。

また、他の教科の負担もあり、8年生以上の生徒たちは日本語をしたいという思いがありながらも、あまり日本語の勉強に集中できません。しかし、私は頻繁に授業を改定し、レベルの低い生徒たちには個人的に補習をしています。また、授業中、十分に書く練習をさせ、視聴覚教材を使い、動機付けを日々行うことでこれらの問題を乗り越えたいと思っています。

日本語の授業は生徒、保護者、教員、学校に前向きな印象を与えています。NHAにおいて小さな日本社会が作られています。将来、これがより大きくなっていくことを願っています。

NHA日本語授業担当　**サンジェ・マナンダー**

シャイリ・カナルの日常生活

子供の名前　：シャイリ・カナル　　学　年　：4年生
お父さんの名前：ツルシ・カナル
お母さんの名前：スミトラ・カナル

シャイリは幼稚園からNHAに通っています。彼女は2012年5月にBFNの奨学生に選ばれました。兄はNHAの8年生です。

彼女は夜9時に寝て、朝7時に起きますが、できればもっと寝たいそうです。彼女は学校を欠席することはほとんどありませんが、時々宿題をするのを忘れ、先生から罰を受けます。

彼女は家がNHAから遠く、バスで30分かかります。家に帰るとすぐ、外で友だちと遊ぶので、母親は宿題をちゃんとしなさいと注意します。

母親は教育の重要性を強く認識しており、定期的に学校を訪問し、先生から子どもたちの学校での様子を聞きます。時には学校に意見を言うこともあります。母親はできれば将来彼女を日本に送りたいと考えています。

シャイリの母親は次のように言っています。
「娘に奨学金を与えていただき、BFNの皆さま、また里親の方に心から感謝しています。

シャイリは幼いころから落ち着きがありませんが、頭は良いと思います。シャイリの世話をするのは大変です。レンズ豆のスープ以外は野菜を食べません。そのためか体は年齢の割に成長していません。

シャイリは新しいことを学ぶのが好きです。家では毎日歌ったり踊ったりしています。記憶力が良く、短い時間でたくさんのことを覚えることができます。以前は宿題をするのを怠けたり、両親に反抗したり、兄とケンカしたりしていましたが、最近は変わりました。

先日、シャイリはバスに乗ることができず、NHAから歩いて帰ってきました。誰にも道を聞かなかったようです。運良くある女性がシャイリを見かけ、我が家に電話をくださいました。父親が迎えに行き、家まで連れて帰りました。その日シャイリは不安で疲れきっていました。その日からシャイリは変わり始め、宿題を自分でし、私たちの言うことも素直に聞くようになりました。」

担任の先生は次のように言っています。
「シャイリは礼儀正しい良い生徒です。最近は宿題や授業の課題をしっかり仕上げてきます。しつけがよくなされた子どもで、先生の話をとてもよく聞きます。とても親切で、月毎のテストでも非常に良い結果を出しています。」

レポーター　PEN職員　**ウジャラ・シュレスタ**

質問箱

質問：「ジャイモシに毎年、貸借対照表、損益決算書が掲載されていて、支援金がきちんと管理されているのがよくわかります。BFNの決算は、わかりますが、送付先のNHAは、明朗に会計処理がなされているのでしょうか。支援者にとって、最貧国での会計処理が不透明でないか心配になる時があります。」

回答： BFNは、NPO法人ですので、毎年、国に決算関係書類を提出しなければなりません。銀行の残高証明書も含めて、監査役に検査をして頂いて報告しています。NPO法人専用の会計ソフトを導入し、透明、明瞭な会計を行っていますが、ご質問のとおり、国内では資金が明瞭でも、海外に出ると不透明では、という御指摘は、ごもっともです。

BFNでは、NHAに送金した支援金は、すべてBFN専用の銀行口座に入金し、NHAのお金と混合しないように資金管理をして頂いております。NHAは、年度末に決算を行い、貸借対照表、銀行残高証明書と支出したすべての領収書（コピー）をBFNに3通提出しなければなりません。それを照合し、PEN、NHA、BFNの代表者が決算書類に捺印、サインを行い、三者がそれぞれ同じものを所持するようにしています。

また、BFNの理事が訪問した時には、年度当初から訪問月までの中間決算関係書類（年度末決算関係書類と同じもの）を提出してもらい、帳簿の記載状況、物品の管理状況、現物の領収証と照合する会計検査を実施しています。

ネパール豆知識（これって知ってた？）

ネパール兵（グルカ）は世界で最も勇敢！！！

英国防省近くにあるグルカ兵の像

19世紀、ネパールと英国東インド会社軍は、3度にわたる戦争（英・ネパール戦争）をしました。停戦後、ネパール山岳民族（マガール、グルーンなど）特有の尚武の気性と白兵戦能力に目をつけた英国東インド会社は、グルカ兵（当時ネパールをグルカと呼んでいた）を傭兵にしました。

セポイの乱が発生すると、ネパールは14,000人のグルカ兵を派遣し、英国軍が行った鎮圧戦で大きな戦力となりました。第二次世界大戦では日本軍とも交戦した他、英国連邦占領軍として日本の占領任務や朝鮮戦争にも従事しました。

現在でも英国軍に従軍しているグルカ兵は約3,600人います。非常に勇猛なことで知られ、フォークランド紛争時にはグルカ兵が攻めてきたと聞いて逃げ出すアルゼンチン部隊もありました。

グルカ兵は、山岳民族特有の小柄な体格（150cm前後）です。英国兵との徒競走で、平地では大柄な白人兵が優位ですが、傾斜地ではグルカ兵に全く歯が立ちませんでした。

グルカ兵の登用は非常に狭き門で、専門学校も国内にあります。採用されると月給1,000ドル以上の高給で働くことが出来ます。国民一人当たりのGDPが1,200ドルしかないネパールでは、かなりの高給職で、ネパールの外貨獲得に一役買っています。

少女集団暴行救出劇

2010年9月、インドの列車内にて、車内に40人もの武装強盗団が侵入し乗客らを脅迫し金品を略奪する事件が発生しました。

偶然に乗り合わせていたグルカ兵の男性は、収奪行為には目をつぶっていましたが、隣席の少女が暴行されそうになると強盗団が複数の銃器や武器で武装していたにも関わらず、携行していたククリナイフを用い強盗団を撃退。犯人3人を死亡、8人を負傷させ、残った強盗団はその場から逃走しました。グルカ兵の男性は左手に負傷しただけでした。

グルカ兵をあなどるなかれ！

グルカ兵：スナイドル銃との対比から140～150cm程の身長である事が分かります。

支援者状況

2013年度 （2013年4月～2013年9月） 2013年9月30日現在

区　　分	人数・件数	金　額	備　　考
正　会　員	22 名	入会金　10,000円 月　額　3,000円	
賛 助 会 員	100名	月　額　2,500円	
子供支援数	102名	月　額　2,500円	
スポット支援	27件	423,500 円	

新規に支援される子供たち 2013年度 （2013年4月～2013年9月） 2013年9月30日現在

氏　名	性別・学年	氏　名	性別・学年	氏　名	性別・学年
プリンシャ・タパ	女　2年生	シリーヤ・ポカレル	女　2年生	サムン・ゴルパンディット	男　2年生
アカンシャ・マラカル	女　3年生				

新中期目標 （5年計画）

2013年9月30日現在 （単位　円）

	２０１０年	２０１１年	２０１２年	２０１３年	２０１４年	備　　考
子供支援目標数	80名	85名	90名	105名	110名	
（現被支援者数）	81名	85名	100名	102名		
スポット支援目標額	500,000	500,000	500,000	900,000	900,000	単年度
（現支援収入額）	941,977	764,000	1,262,800	423,500		
（現年度支援額）	335,834	411,148	561,700	300,000	300,000	
（支援繰越額）	606,143	958,995	1,360,095			
留学生支援準備金		300,000	449,000			
留学生支援金		300,000				

長期ビジョン積立金

2013年9月30日現在 （単位　円）

	２０１０年	２０１１年	２０１２年	２０１３年	２０１４年	合　計
長期ビジョン積立金	454,500	503,500	570,000	299,500		1,727,500

編集後記

2013年も暮れようとしています。今年は、流行語のオンパレードでした。「いつやるの？今でしょう！」、「じぇ、じぇ、じぇ！」、「倍返しだ！」など。最近のものは、「偽装」です。大阪の某有名ホテルから始まり、高速道路のサービスエリアの売店まで、食品の偽装表示で責任者がテレビで頭を下げる場面が頻繁に映っていました。消費者にとっては、偽装しなくても、正直に売ればいいのにと言う気持ちで一杯です。子供に「嘘はいけない」と言っている大人がこれでは、恥ずかしい限りです。大人にとって正直であることが、そんなに難しいことなのか。改めて考えさせられます。 さて、前回「ジャイモシ第10号記念号」を発行し、新たなる気持ちでスタートしました。支援者の皆様には、新鮮で、正直に、正確な情報を提供したく思います。支援ほしさに出来事を大げさな表現で貧困のネパールを書いたりするのでなく、ネパールの正確な現状を伝え、NHAの子供たちの喜怒哀楽や先生たちの苦悩や喜びをお知らせし、共に喜び、共に泣くような「ジャイモシ」であればと願っています。

今後も変わらない御支援を宜しくお願い申し上げます。良いお年をお迎えください。

神様の祝福が豊かに皆様方の上にありますように。タンニャバ（ありがとう）！